

高齢者や女性にも増加

知っておきたい！肺がん治療の今



国内の全てのがんのうち「肺がん」の罹患数は男性では2位、女性では3位。また年間約37万人のがん死亡数のうち、肺がんによる死亡数は約7万8千人で1位と、いずれの統計でも上位に挙がる。治療法の進歩にもかかわらず死亡数が増える背景には、高齢化による罹患数の増加や、喫煙者数の下げ止まり傾向、初期症状に乏しく発見が遅れる例が多い……などが挙げられる。今回、熊本大学呼吸器外科教授の鈴木実氏に、注目される原発性肺がんの治療についてお聞きした。

多くは無症状で進行 転移しやすいのも肺がんの特徴

肺がんは大別すると「小細胞がん」と「非小細胞がん」があり、非小細胞がんは「腺がん、扁平上皮がん、大細胞がん」の三つに分類されます。発症する位置によっても、気管支にできる「肺門型」、肺の末梢にできる「肺野型」に分けられます。近年、肺野に多く発症する腺がんや、女性の肺がんが増加傾向にあります。肺がんの主要因は喫煙ですが、非喫煙者の発症も珍しくないので、長引く咳や痰・血痰などが初期症状ではありますが、他のがん同様、多くは無症状で、進行して見つかる例は少なくありません。進行すると骨、肝臓、脳などへ遠隔転移しやすいのも肺がんの特徴です。

再発を予防し治療を目指す 「術後補助化学療法」

検査では胸部X線、喀痰細胞診のほかCT、PET、頭部MRI（脳転移の有無）などを行い、状態や病期（ステージI～IV）を診断します。主な治療は手術療法（外科的切除）、化学療法（抗がん剤）、放射線療法で、肺がんの種類や病期、転移の有無や全身状態などにより、これらの治療法を組み合わせる「集学的治療」を行います。

一般的にI～III期は外科手術が基本で、状態により（肺葉（肺の2～3分の1）・区域・部分）など、体に負担が少ない切除範囲を検討します。I期では「胸腔鏡手術」が可能な例もあります。4cm～1.5cm程度の3カ所の小さな傷で済みますが、開胸手術より難しくなります。近年、重視されているのが手術後

補助化学療法で、統計学上明らかに5年生存率が向上しています。がんは病巣の1立方mmに約100万個の微小ながん細胞があるといわれます。この微小ながん細胞を術前検査で見つけるのは困難で、術前すでに発見できない転移が起きている可能性もあります。術後補助化学療法の目的は、このように発見できないがん細胞があることを想定し、術後の再発を予防し治療を目指すことにあります。万一、再発した後の治療は、残念ながら多くの場合治療・根治ではなく、進行を遅らせる治療になるからです。術後補助化学療法は大変ですが、根治を目指す治療といえます。

定期検診で早期発見を

実は、肺がんで外科手術の対象者は約48%にすぎません。ある統計では、手術できた人の5年生存率66%に対し、できない人・しない人は8.5%と大差が生じています。背景として、外科手術の向上とともに新薬の開発や放射線療法の進歩など、集学的治療の効果が大きく考えられます。さらに今後は分子標的薬や免疫治療などの開発にも期待が持てます。

生涯で肺がんに罹患するのは、男性は約10人に1人、女性は約21人に1人。低リスクの人はもちろん、喫煙者など高リスクの人は胸部X線や喀痰細胞診など定期検診を受け、早期発見に努めてください。（談）



熊本大学大学院 生命科学部 呼吸器外科学分野 教授 **鈴木 実氏**
(すずき・まこと) 1989年千葉大学医学部卒業後、同部附属病院肺外科医員。千葉県救急医療センター、小田原市立病院、千葉県がんセンターなどを経て99年千葉大学医学部附属病院肺外科助手。2001年米国テキサス大学留学。03年千葉県がんセンター呼吸器科医長。08年千葉大学医学部附属病院呼吸器外科講師、10年より現職。日本外科学会 指導医、日本胸部外科学会指導医、日本呼吸器外科学会指導医、日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡指導医など。

地域医療支援病院、熊本県指定救急告示病院
熊本県指定がん診療連携拠点病院、熊本県難病医療ネットワーク拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院

独立行政法人 国立病院機構
熊本再春荘病院
Kumamoto Saishunso National Hospital

診療科目
●内科 ●呼吸器内科 ●神経内科 ●循環器内科 ●代謝内科 ●消化器内科
●リウマチ科 ●小児科 ●外科 ●整形外科 ●放射線科 ●リハビリ科 ●病理診断科
●呼吸器外科 ●感染症内科 ●腫瘍内科 ●麻酔科 (柴田義浩・内野真理子・大友 純)

熊本県合志市須屋2659 <http://www.k-saisyunsou.jp/>
TEL.096(242)1000 FAX.096(242)2619

独立行政法人国立病院機構
南九州病院
院長 廣津 泰寛
呼吸器外科部長 久保田 伊知郎
鹿児島県始良市加治木町木田1882
☎0995(62)2121

独立行政法人 国立病院機構
熊本南病院
院長 金光 敬一郎
熊本県指定がん診療連携拠点病院
熊本県宇城市松橋町豊福 2338
☎0964(32)0826
<http://www.hosp.go.jp/kumanann>